

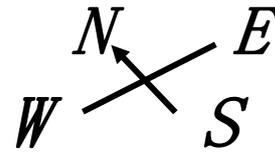
藤 沢

エコネット

藤沢環境運動市民連絡会議
(略称) 藤沢エコネット

2022年8月1日

第339号

主
な
記
事

- ・横須賀気候マーチに参加
- ・クマゼミの分布急拡大
- ・遠藤笹窪谷公園
- ・参議院選挙結果と安倍元首相の国葬問題

<http://econet2015.sakura.ne.jp>事務局 e-mail: aoyagipc@jcom.home.ne.jp 青柳

FAX 0466-87-4922

聞こえますか・・・あの日に散った被爆者達の悲痛な叫びが・・・

1945年（昭和20年）8月6日広島、9日長崎、人類史上初の原子爆弾投下により21万人超の原爆犠牲者が出ました（当年12月末まで）。

あれから77年経過した今、先日オーストリア・ウィーンで6月21日～23日に開かれた核兵器禁止条約の第1回締約国会議に日本被団協（日本原水爆被害者団体協議会）から木戸事務局長と家島代表理事が出席、傍聴し、その前後に開かれた市民社会フォーラムなどで、核兵器の非人道性を証言、発言したと新聞等で報じられています。

にもかかわらず残念ながら日本政府は不参加、核保有国と非核保有国との橋渡しをすると公言している日本。核兵器廃絶国際キャンペーン（ICAN）のペアトリス・フィン事務局長が会議に先立ち“不参加”の日本には

橋渡しの資格はないと批判、このことは被爆者である私としては、いたたまれない気持ちで残念です。

広島出身の第100代内閣総理大臣にしっかりもの申したい。

広島、長崎の惨事を二度と繰り返さない為に核兵器廃絶、今まで通り憲法9条を守り、対話による世界平和の実現に日本が先頭を切って声を上げ全世界の人々に、命日の日に強いメッセージを発し、犠牲になった罪のない被爆者達の切々たる願いを電波に乗せて伝えて欲しい。

また、来年5月に広島で開催されるG7サミット（主要国首脳会議）で、浮かばれなかった被爆者達の強い願いを含め、世界平和への広島平和宣言を期待しています。

夜空を見上げると何億光年もの宇宙の彼方から地球を目指し瞬時に移動してくるUFO群、彼等が何を思い、何かを懸命に発信しているであろう内容も、今世紀の地球科学ではとてもとても受信できるレベルにない。

地球の未来、平和な社会の実現、聞けるものなら聞いてみたいものだ。

（藤沢市原爆被災者の会元会長 埴下雅美）



ヒマワリ 石川地区で

参議院選挙結果と安倍元首相の国葬問題

7月10日、参議院選挙がおこなわれ、自民、公明、維新、国民などの改憲政党が改憲発議に必要な3分の2の議席を獲得した。これまで、3分の1以上の議席を確保し憲法改正を許さなかった護憲勢力にとって、新たな厳しい闘いが始まったと言えよう。しかし、有権者の多くが改憲を今すぐ望んだのかと言うと、そうでは無く、選挙後の世論調査でも、改憲勢力が3分の2をしめた状況の下でも「改憲を急ぐ必要は無い」58.4%（共同）、読売でも取り組むべきは37%に過ぎなかった。国民の多くは改憲よりも、物価対策、経済対策、年金、医療、コロナ対策を望んでいたのである。圧倒的多数の国民の声を背景に、憲法改正を許さない闘いの再構築が求められている。

ところが選挙の最終版、7月8日、安倍元首相の殺害事件が起こり、選挙終了後、岸田政権は、この秋9月27日に大々的に安倍元首相の国葬を実行することを閣議決定した。個人が安倍元首相の死を悼むのは何ら問題はないが、国民全体に国葬という形で弔意強要するのは問題である。SNSをはじめ野党やメディアの中からも多くの反対と疑問の声が上がっているのが実情である。国会も開かず、政府が一方的決定する国葬は、いたずらに世論の分断と対立を煽るものであり、民主主義に反するものであると言わなければならない。とりわけ、憲法改正は安倍元首相の強い意志であるなどと言って、国葬を改憲問題に利用する等ということは絶対に許されるべきことではない。そして、さらに問題となったのは安倍元首相と旧統一教会と自民党との癒着問題である。銃撃事件後、安倍晋三を初め自民党議員と旧統一教会との密着問題が暴露されている。

参議院選挙は、改憲派が多数を占めたことと合わせて、安倍元首相の国葬問題や自民党と勝共連合な

どとの癒着問題という新たな政治問題を引き起こして秋の政局を迎えることとなった。

（小林麻須男）

横須賀気候マーチに参加して

横須賀、三浦半島の久里浜に現在新設の石炭火力発電所が建設されています。建物はほぼ完成に近づいており、このままいくと2023年には稼働が始まります。

建設に対し、約3年にわたり国の対応の違法性を問う行政訴訟を市民が起こしています。この訴訟の結審が6/6（月）にあり、気候変動が深刻化している今、石炭火力新設が必要あるのか、改めて市民に考えてもらい、関心を深めるため、横須賀市民の方が連帯イベントが企画されました。

4月に「グレタひとりぼっちの挑戦」の上映会、第1回横須賀気候マーチを開催。上映会には1,000人以上、気候マーチには雨にもかかわらず、200人もの方が集まりました。

結審直前の6/4（土）にも第二回気候マーチが行われ、私も参加してきました。マーチの前に上映会を見て、グレタの声に突き動かされた小学生が、「自分たちの未来を守りたい」とスピーチをする姿に心が動かされない人はいなかったと思います。

140人近くの参加者が集まり、横須賀市内を「再エネ社会を目指そう！」と音楽に合わせて歌いながら、歩行者の方や車で往来している方に向けて訴えました。横須賀で様々な活動をしている市民が協力して、このイベントを作り上げ、参加者の方にとっても温かい、そんな横須賀市民の皆さんのすごさを実感しました。まだ気候変動の深刻さに気付いていない人、石炭火力発電は新技術でCO₂を削減することができると思っている人、きっと私たちの身の回りにもいると思います。

気づいている人は、ぜひ教えてあげてほしいです。自分でうまく話せない場合は、イベントと一緒にいってみるという方法で広めることもできます。



今回、実際に気候変動に関心を強く持ち始めた参加者の姿を見て、改めてそんな一人一人の行動が大事だと感じました。
(T・F)

遠藤笹窪谷公園

藤沢市の三大谷戸の一つ遠藤^{ささくぼやと}笹窪谷に 2.5ha の公園が整備され開園。さっそく行ってみました。

慶応大学看護学校の裏で、えびねやまゆり園に隣接した場所です。

木道や浸透式アスファルトの遊歩道、草地、湿地帯、ショウブ、田んぼ、池などがあります。生物多様性サテライトセンターの建物と身障者用の駐車場がありました。大雨の時は遊水地となり約 1 万 t の水を溜めることができるそうです。



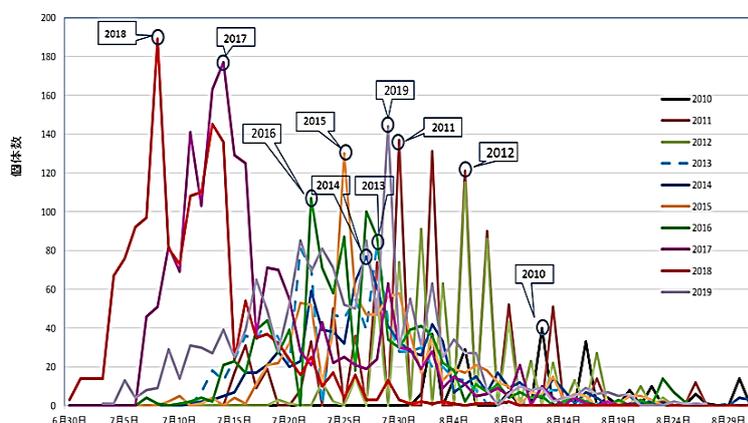
期待した生物多様性サテライトセンターは、トイレのみで中には入れませんでした。みどり保全課に問い合わせると、本格運用は来年の4月から、指定管理者により管理運営されるとのこと。それまでは、管理者がいない状況になります。親子連れがトンボやバッタを草地で捕まえていました。

災害時の雨水調整機能は大事ですが、谷戸の環境を守るためにはなるべく自然のまま維持管理することが必要です。その場所のない植生や植樹をすること、建築物を建てること、また人間や車が侵入することも、植物や生物など生態系に大きく影響します。環境教育の拠点、生物多様性の普及啓発、市民活動団体の活動場所と目的があげられていますが、気候危機が深刻な今、賑わいや活性化ではなく、求められているのは、谷戸の自然をそのままに壊さず遊水機能を高めていくことではないでしょうか。

(加藤なを子)

ご存知ですか？ 藤沢でクマゼミの分布急拡大

表2 クマゼミの発生ピーク日の変遷(2010～2019年辻堂海浜公園)



「シャー シャー」と鳴く日本最大のセミであるクマゼミは元々は西日本に多く生息し、分布は神奈川県が北限で、大磯と城ヶ島を結ぶ南西側といわれてきましたが、近年、平塚・茅ヶ崎などで多数のぬけがらが見つかり分布が拡大してきました。

藤沢では、長い間、鳴き声は聞かれるがぬけがらは見つかっていませんでしたが、1985年、江の島で初めてぬけがらが見つかりました。2010年8月には辻堂海浜公園でクマゼミの集団発生が確認されました。その後、この10年間でぬけがら発見箇所は累計で43ヶ所、見つかったぬけがら数は2010年は210個体でしたが、2019年には2,419個体となり、市内全域に分布が拡大しています。

最初に集団発生が見つかった辻堂海浜公園では、2010年から夏には毎日ぬけがら調査が行われました。

これにより分かったことは発生のピークが年々早くなっていることです。

元々は南の地域に分布していたクマゼミが藤沢で繁殖するようになり、発生のピークが早くなったのは温暖化の影響の可能性が考えられます。

このような温暖化の影響が色々な形で明らかになっている例は、昆虫類の幼虫がこれまで越冬できなかった地域で、近年、越冬するようになり果樹園等ではその防除に苦慮しています。

藤沢クマゼミ調査研究会 HP

(生物資源科学博士 宮地俊作)



ウクライナからの避難者

ロシアによるウクライナ攻撃が続き2月24日の侵攻から5か月、停戦の目途すら立っていません。国連憲章無視、人道に反する侵略行為は許されるものではありません。

戦禍を逃れるため日本への避難を余儀なくされた避難者を、藤沢市は「ウクライナ避難民支援相談窓口」を設置し、神奈川県との連携で避難支援を行っています。「ウクライナ人道危機救援金」も募集しています。

藤沢市では生活準備金として1人10万円、生活費や住居費として、単身なら月額13万円程度、親子2人で20万円程度（いずれも国などの支援との合算）を支給。市営住宅の無償提供、市社会福祉協議会が生活全般の相談に乗ることとしています。が、居住している方は現在2人です。

神奈川県によると、県内に105人(7/28現在)、その内8割は横浜市内。女性が多く半数以上は親族を頼って来日し、他は市営住宅や民間の無償提供された住宅にも住んでいるとの事です。入居時の家具・家電整備費、交流スペースの運営費など助成。生活協同組合パルシステム神奈川からも食の支援を受け入れています。

言葉が避難者にとっては「多言語支援センターかながわ」がウクライナ語とロシア語で住民登録などの手伝いもしているそうです。

神奈川県はウクライナと深い関係があり、オデーサ州は1986年に当時の長洲知事がオデーサ州を訪問して以来、友好交流地域となっています。また、横浜市はオデーサ市と、共に戦火による焦土の中から復興したこと、国際港湾都市であることの縁で1965年に姉妹都市提携を行って以来、医療・スポーツ交流や市民団体訪問等の交流を続けています。一日も早くこの戦争が停止することを願ってやみません。(K・A)

放射能測定値(市民計測)

(HORIBA Radi) 単位 ($\mu\text{Sv/h}$) 地上50cm

7/28 晴	市役所分庁舎前	0.073
7/28 晴	本庁舎1Fロビー	0.087
7/28 晴	辻堂海岸砂浜	0.021

ECONET INFORMATION

▲原爆パネル展

核兵器のない平和な世界を目指して

8月6日(土) 藤沢駅サンパール広場

8月9日(火) 辻堂駅北口デッキ

4時～5時 主催 ピースリレー・ふじさわ

▲ふじさわ・不戦のちかい

8月15日(月) 4時～5時

藤沢駅北口サンパール広場

平和を願って歌や訴え、署名など

主催 藤沢不戦のちかい平和行動実行委員会



▲リサイクルプラザエコエコ夏祭り

商品プラスチックリユース 古本市 藍染体験
新焼却炉建設工事見学会ほかイベントたくさん

8月6日(土) 9:00-13:00

場所/リサイクルプラザ藤沢(藤沢市桐原23-1)

▲ネイチャーセミナー

8月14日(日) ・9月16日(金)

- ・基礎編 気候変動と海洋プラスチック問題
「最近環境問題に関心を持ち始めた」という人
10:30～12:15

- ・実践編 今すぐできる7つの実践!
14:00～15:45 参加費 770円

<会場>エコストアパパラギ2階ホール

主催エコストアパパラギ 申込 0466-50-0117

▲藤沢エコネットから

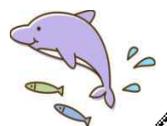
会費等の振込ありがとうございます

- ◆会員募集 年会費・購読料→2000円

【ゆうちょ銀行 加入者名 藤沢エコネット
口座番号 00240-9-46501】

- ◆事務局会議8月6日(土)

10:00～六会公民館



《編集後記》え！コロナで川崎の路線バスが運休？ 横浜で郵便局がお休み？ 医療機関ほか公共機関まで機能不全に陥った。コロナ第7波は全国で新たに連日20万人を越え、入院どころか受診もできない。せめて検査キッドの抜本的拡充を。政界と世界平和統一家庭連合(旧統一協会)との癒着が明白に。旧統一協会は人権問題・靈感商法で問題の規制すべき団体に関わらず、上からの指示で取り調べを免れた？団体である。(A)